令和7年3月27日（木）
 問合せ先 農産課
 連絡先 0479-24-8939

高病原性鳥インフルエンザの総括について

1 銚子市内農場の発生経過

	発生日	殺処分羽数	殺処分完了日	防疫措置完了日	移動制限区域の解除日
1	1月12日	407,932羽	1月22日	2月6日	3月15日
2	1月15日	408,379羽	2月1日	2月13日	3月15日
3	1月19日	267,599羽	2月4日	2月27日	3月21日
4	1月19日	362,715羽	1月26日	2月19日	3月21日
5	1月24日	385,333羽	2月5日	2月27日	3月21日
6	1月28日	241,639羽	2月4日	2月19日	3月13日

2 海匝地区全体の経過（日付は全農場の完了日）

	農場数	殺処分羽数	殺処分完了日	防疫措置完了日	移動制限区域の解除日
銚子市	6	2,073,597羽	2月5日	2月27日	3月21日
旭市	7	945,744羽	2月3日	2月26日	3月21日
匝瑳市	2	299,815羽	2月3日	2月12日	3月6日
海匝地区	15	3,319,156羽			

3 銚子市の防疫対応

○主な時系列

- ・1月12日午前10時 銚子市高病原性鳥インフルエンザ対策本部を設置
- ・1月12日午後4時 防疫作業開始
- ・2月5日 午前1時 殺処分完了
- ・2月27日午前11時 防疫措置完了
- ・3月11日午前0時 搬出制限区域の解除
- ・3月21日午前0時 移動制限区域の解除
- ・3月21日午後3時 銚子市高病原性鳥インフルエンザ対策本部の解散

○サブステーションの設置（防疫作業の拠点）

- 1月12日～1月20日、2月21日～3月21日 旧第七中学校
- 1月20日～2月20日 銚子市体育館

○市職員の防疫活動状況（1月12日～3月21日）

・ 対策本部業務	延べ330人
・ サブステーション設営・運営補助	延べ116人
・ 農場内テント運営補助	延べ 60人
・ 農場作業（殺処分）	延べ160人
・ バス運転業務	延べ 40人

計 延べ706人

○焼却処分

- ・ 1月23日から県内5か所の施設で焼却を開始し、3月21日で焼却はすべて完了。
- ・ 東総地区クリーンセンターでは1月23日から受入れを開始（毎日18:00～翌6:00 1日当たり3.3トン（1,440羽）を焼却処分）

○埋却処分

- ・ 各農場が所有する埋却地で試し掘りを行い、その後に鶏や卵、飼料を埋却。
- ・ 埋却についても2月27日ですべて完了。
- ・ 埋却地は埋却後3年間掘り起こしが禁止される。

4 今後の対応

○経営再開

- ・ 試験的に鶏舎に入れるモニター鶏を導入し、その後の検査で陰性が確認でき、飼養衛生管理基準が満たされれば、経営再開できるようになる。

○事業者への支援

- ・ 家畜伝染病予防法に基づく手当金
補償の対象は鶏、卵、餌など。額の算定に時間がかかるので、事業者への支払いは半年から1年程度を要する見込み。
- ・ 家畜疾病経営維持資金利子補給
経営再開・継続に必要な資金の融資を円滑にするための利子補給。
 - ①経営再開資金：発生農場に対する支援。限度額は法人8,000万円、償還期間7年。
利子補給率は国1/2、県1/4、市1/4で、事業者は無利子。
 - ②経営継続資金：移動制限等による影響に対する支援。限度額は100羽あたり52,000円、償還期間7年。利子補給率は経営再開資金と同じく、事業者は無利子。

○今後の課題

- ・ 防疫拠点となるサブステーションや消毒ポイントの候補地
- ・ 大規模な被害が出てしまった際の職員の動員体制
- ・ 各農場による埋却地の確保